

事業者排出量削減報告書

| | | | | | | | |
|--|---|--|---|----------------|----------------|----------------|------------|
| (宛先) 京都府知事 | | 2020年 7月30日 | | | | | |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒604-8166 京都府京都市中京区御倉町85番地1 KDX烏丸ビル8F | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） カゴヤ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 岡村 武 | | | | | |
| 主たる業種 | ポータルサイト・サーバー運営業 | | | | 細分類番号 | 4 0 1 1 | |
| 事業者の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号 | | | | | | |
| 計画期間 | 平成29年4月から令和2年3月まで | | | | | | |
| 基本方針 | 平成28年度を基準に、平成31年度までの温室効果ガス排出量を3%以上削減する | | | | | | |
| 計画を推進するための体制 | エネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理員、総務グループを主体とする運用管理を実施 | | | | | | |
| 温室効果ガスの排出の量 | 温室効果ガスの排出の量 | | 基準年度 (26~28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 増減率 |
| | 事業活動に伴う排出の量 | | 3,265.0 トン | 3,317.2 トン | 3,581.0 トン | 3,667.3 トン | 7.9 パーセント |
| | 評価の対象となる排出の量 | | 3,245.5 トン | 3,317.2 トン | 3,581.0 トン | 3,667.3 トン | 8.5 パーセント |
| 実績に対する自己評価 | | 施設における設備の適正管理 省電力IT機器の利用率向上 | | | | | |
| 原単位当たりの温室効果ガス排出量等 | 事業の用に供する建築物の用途 | 原単位の指標 | 基準年度 (28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 増減率 |
| | | 事業活動に伴う排出の量 (サーバーの消費電力/10) | 8.14 | 8.01 | 8.27 | 8.33 | 0.78 パーセント |
| | | 事業活動に伴う排出の量 () | | | | | パーセント |
| 実績に対する自己評価 | | サーバーを稼働する際に排出する温室効果ガスの排出量の削減につとめる。 | | | | | |
| 重点的に実施する取組の実施状況 | | | 基準年度 (28)年度 | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 備考 |
| | | | 70.0 パーセント | 82.0 パーセント | 82.0 パーセント | 82.0 パーセント | |
| 具体的な取組及び措置の内容 | (29)年度 | | 空調効率向上対策（ホット/コールドアイル分割の徹底）、BEMSによる計測・記録 | | | | |
| | (30)年度 | | 空調効率向上対策（ホット/コールドアイル分割の徹底）、BEMSによる計測・記録 | | | | |
| | (31)年度 | | 空調効率向上対策（ホット/コールドアイル分割の徹底）、BEMSによる計測・記録 | | | | |
| 通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置 | 措置の内容 | | 自転車・公共交通機関の利用促進 | | | | |
| | 上記の措置を実施した結果に対する自己評価 | | 自動車の通勤利用率抑制による温室効果ガス発生抑制 | | | | |
| 森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量 | 区 分 | | 第1年度 (29)年度 | 第2年度 (30)年度 | 第3年度 (31)年度 | 備考 | |
| | 森林の保全及び整備によるもの | | | トン | トン | トン | |
| | 地域産木材の利用によるもの | | | トン | トン | トン | |
| | 再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの | | | トン | トン | トン | |
| | グリーン電力証書等の購入によるもの | | | トン | トン | トン | |
| | 温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの | | | トン | トン | トン | |
| 合 計 | | | 0.0 トン | 0.0 トン | 0.0 トン | | |
| 地球温暖化対策に資する社会貢献活動 | 事業所内の緑化推進を継続して行っている。 | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | | |

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。